

商工会・商工会議所 関係者の皆さま

稼ぐ力をつける！

実践・商品開発

セミナー

オンライン
開催

episode 01

紅芋菓子のブランド化



episode 02

飲食店発の
流通商品開発



episode 03

ハンズオン支援先
公募のご案内



開催日

2025年 **7/7** (月)

時間

13:30 - 14:30

場所

Teams <https://x.gd/vNmoe>

お申込み先

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/okinawa-chiteki/2025_seminar

※申込締切 **7/4(金)**

講師

青木 元

株式会社ノイズ・バリュー社
ゼネラルマネージャー
／専務取締役



【運営事務局】

株式会社ノイズ・バリュー社

tel:098-987-5775

E-mail:tokuyama@noisevalue.co.jp

(担当:渡久山)

【お問合せ先】

E-mail:bzl-oki-tokkyo@meti.go.jp

※件名には「沖縄地域における商品開発ハンズオン
支援事業(お問合せ)」と入れてください

詳細は
裏面へ！

本セミナーは、地域で事業者にもっと近い立場で支援を行う商工会・商工会議所の経営指導員・補助員の皆様、および他の支援機関・市町村担当者の皆様を主な対象として開催します。

商品開発支援・知財活用の実践的なノウハウを、豊富な事例を交えてご紹介。支援機関として担当する事業者の皆様が、競争力強化を実現できるよう、効果的な商品開発のポイントや、支援機関としての役割のポイントのほか専門家や関係機関との連携のポイントを学べます。

episode 01

『小さなケーキ屋さんの紅芋菓子のブランド構築への挑戦』

久米島の小さなケーキ屋さんが、地域資源である紅芋を活用した焼き菓子でヒット商品を生み出し、ブランドを確立した軌跡をご紹介します。

- セミナー参加をきっかけに学んだ商品開発のステップ。
- 地域資源の価値を高める市場ニーズの捉え方と活かし方。
- 築き上げたブランドを模倣から守り、経営に繋げる商標権取得とその効果。



episode 02

『イタリアンレストランの沖縄素材の新スイーツ開発』

糸満のイタリアンレストランが、伝統イタリア菓子に沖縄素材を融合した新スイーツ開発で直面した様々な苦難。

- 開発過程で発生した具体的な技術的課題と「壁」。
- 商品開発・品質管理などの専門家チームとの連携が、いかに課題解決の突破口を開いたか。
- 支援機関の役割：事業者の潜在的な課題を把握し、適切な専門家や外部リソースへ効果的に繋ぐ、伴走支援の重要性



episode 03

令和7年度 ハンズオン支援先 公募のご案内

専門家の指導を受けながら、商品開発や知的財産活用のハンズオン支援事業者を募集します！**支援対象事業者推薦し、その支援過程を支援機関の皆さんと一緒に学びませんか？**

- コンセプトのまとめ方から、ネーミング開発、一括表示の作成および知的財産（特許や商標等）の活用において、関心がある事業者など、皆さんが支援している沖縄の事業者をぜひご推薦ください！

ハンズオン支援申し込みはこちらのリンクまたはQRコードから↓
https://www.ogb.go.jp/keisan/policy_list/policy_01/12981/Folder02/250618_01



本セミナーにご参加いただいた支援機関の皆様へ、令和7年度「沖縄地域における商品開発ハンズオン支援事業」のハンズオン支援先公募についてご案内します。商品開発のポテンシャルや知財活用へのニーズ、モデルケースとしての適性などを基準に、支援対象事業者を選定します。

セミナーを通じて、貴会/貴所が担当する意欲的な事業者をご推薦いただくことも可能です。地域事業者の皆様の潜在的な力を引き出し、知財経営を実践する力強い伴走者となるための知識とヒントが満載です。ぜひ、この機会にご参加ください。